



第219号
 企画・編集・発行
 社会福祉法人
 大野市社会福祉協議会
 大野市ボランティアセンター
 大野市共同募金委員会
 大野市天神町1-19
 ☎65-8773
 印刷・(株)松浦印刷所

～のぞいてみよう！身近なボランティア～

大野市ボランティア活動ネットワーク
 広報・啓発イベントを実施します！

いつ

10月9日(土)～13日(水)

どこで

ショッピングモールVio
 センターコート

どんな

ボランティアグループの紹介や
 体験など





大野市
 ボランティアセンター
 マスコットキャラクター
 ランティイ

大野市ボランティア活動ネットワークは、市内で活動しているボランティアグループなど12団体で組織し、情報交換会や研修会など様々な活動に取り組んでいます。

今回、このボランティア活動の市民の皆さまへの広報・啓発活動として、ショッピングモールVioのセンターコートで、ボランティアグループの紹介や体験会などを開催します。

身近なボランティアについて、知っていただく良い機会です。ぜひ、お越しください。詳しいことは次ページをご覧ください。

 この社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を活用して発行しています。

市社協ホームページ▶ 

大野市ボランティア活動ネットワーク広報・啓発イベント



点訳した名刺づくり体験

点訳ボランティア てんてん
視覚障がいのある方へ情報の点訳や、
学校の点字体験などを行っています

車いすの介助体験

ボランティア連絡協議会
高齢者や障がい者の行事や社会参加
のお手伝いをしています

10/9
(土)

音訳テープの視聴

音訳ボランティア 麻那の会
視覚障がいのある方へ広報誌などを吹き
込んだカセットテープで伝えます

10:30
~
15:30

絵手紙の色づけ体験

絵手紙 ひよっこくらぶ
ひとり暮らし高齢者等配食サービス用
のカバー絵などを作成しています

色紙づくり体験

話し相手ボランティア よつば
福祉施設を訪問し、話し相手をしてい
ます。現在は施設訪問ができないた
め、色紙に言葉などを添えて贈る活
動をしています

10/10
(日)

風呂敷でリュックづくり体験 新聞紙でスリッパづくり体験

大野市赤十字奉仕団
災害時の炊き出しや街頭募金、献血
の推進などを行っています

10:30
~
15:30

手話であいさつ体験

手話サークル 名水
手話通訳や学校の手話体験などを行っ
ています



10月9日(土)~13日(水)

10:00~19:30 (10月13日(水)は15:00まで)

上の体験会に参加するグループのほか、次の団体の活動を紹介しています。

- *精神保健福祉ボランティア はづき会
- *大野市婦人福祉協議会
- *大野市母子寡婦福祉連合会
- *ハンドマッサージ かがやき

ボランティアセンターより

ボランティア紹介冊子を作成しました



大野市ボランティアセンターは、大野市のボランティアの広報を目的として大野市ボランティア紹介冊子を作成しました。

A4版8ページの冊子は、ボランティアの説明や活動内容、大野市内のボランティア団体の紹介などを掲載しています。

この冊子は、各公民館などで配布しているほか、社協ホームページでも閲覧できます。

詳しくはこちら▶



ボランティアのコミュニケーション技術レベルアップ講座を開催しました

福井県カウンセリング研究会 会副会長の 巢守光氏を招き、7月24日、結とぴあにおいて「ボランティアのための傾聴」を学ぶ講座を開催しました。この講座は人と接するボランティアの方々を対象にした内容で、14人が受講されました。人により感じ方が違うため、自分の先入観を外して相手の話を聴くことが大事であること

となど、講義と演習を通して傾聴技術を学びました。



ボランティア大募集!

大野市ボランティアセンターでは、「ボランティアがしたい」「ボランティアがほしい」といった相談を、個人から団体まで、幅広く受け付けています。企業や団体向け福祉体験(車いす体験・手話体験など)も受け付けています。

ボランティアに興味のある方は、大野市ボランティアセンターへお気軽にお問い合わせください。

○ボランティアセンターはどこにあるの?



大野有終会館(結とぴあ)本館2階の南側にあり、平日の午前9時から午後5時まで開所しています。

午前中はボランティア、午後は職員が常駐しています。

○お問い合わせ先

大野市ボランティアセンター
電話 65-8773

福祉サービスの苦情解決をお手伝い



事業所に直接話しにくい場合や、事業所との話し合いで解決できなかった場合などお気軽にご相談ください。秘密は必ず守ります(匿名でもかまいません)。



相談時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(祝日・年末年始は除きます。)
電話0776-24-2347 / Fax0776-24-8942
E-mail kujyo@f-syakyo.or.jp

地域の福祉 みんなで参加
～赤い羽根共同募金にご協力ください～
「助け合い」「支え合い」
～つながり～

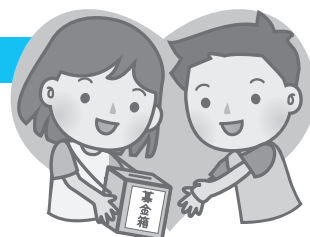
☆令和3年度目標額☆
大野市
共同募金委員会
7,012,000円
福井県全体
147,059,000円

今年も10月1日から全国一斉に「共同募金運動」が始まりました。

共同募金運動は社会福祉法に基づいて実施されるわが国で唯一の国民総参加をめざす募金運動で、いつも多くの皆さまのご協力のもとに進められています。

しかし、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで進めてきた活動は、その内容の見直しを余儀なくされ、場合によっては中止や縮小せざるを得ない状況が続いています。その反面、こうした状況は、地域の方々の“つながり”の大切さを改めて私たちに教えてくれることとなり、それを途切れさせないよう創意工夫して活動している団体や、支援を必要としている人々への支援活動のため、皆さまの温かいご支援をお願いします。

共同募金はどうやって集めるの？



- 【戸別募金】 区長さんを通じて市内全世帯の皆さまに募金をお願いします。
- 【学校募金】 市内の小・中学校で募金をお願いします。
- 【法人募金】 各事業所・会社などに1口1,000円以上の募金をお願いします。
- 【イベント募金】 各種イベント会場で募金をお願いします。
- 【募金箱募金】 大野市社会福祉協議会の窓口などに募金箱を設置して募金をお願いします。
- 【職域募金】 官公庁や各事業所、会社などの職域に募金をお願いします。
- 【街頭募金】 各協力団体が量販店やスーパーマーケット前などで募金を行います。

共同募金の使い道は？

昨年も温かい善意により多くの募金が寄せられ、その善意は福井県共同募金会に集約された後、民間の福祉活動に配分されます。

この配分金は大野市社会福祉協議会にも行われ、地域福祉事業に有効に使われています。

- 【福祉教育推進助成事業】 市内小中学校(14校)の福祉教育活動を助成
- 【障害者ふれあい交流事業】 在宅障害児(者)ふれあい広場の開催
- 【総合相談事業】 心配ごと相談、法律相談の実施
- 【広報活動事業】 社協だよりの発行(年4回)
- 【元気なおおのっ子応援事業】 おおのっ子の放課後などの活動を支援
- 【福祉活動団体運営助成事業】 福祉団体等の運営助成
- 【赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業】 地域をよくするまちづくり福祉活動を行う団体へ助成
- 【赤い羽根地域福祉活動活性化助成事業】 住民による福祉のまちづくりを行う地域福祉活動団体へ助成



地域福祉活動活性化助成事業
 「阪谷地区社協世代間交流」

歳末たすけあい募金運動も始まります

12月1日から31日までは、「歳末たすけあい募金運動」も始まります。お寄せいただいた募金は、大野市内の地域福祉活動に活用させていただきます。詳しくは次ページをご覧ください。

〈お願い〉

今年の募金活動や配分金事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部実施方法や内容が変更になることがあります。ご了承ください。



まちづくり福祉活動助成事業「上庄食堂」



歳末たすけあい募金事業

皆さまからいただいた募金は、地域を良くするための活動の貴重な財源となっています。その募金を活用した令和3年度に実施予定の事業をご紹介します。

● 生きがいつくり奨励事業

各地区の老人クラブに活動費を助成



交通安全マスコットを手作りし、交通安全協会へ贈呈(令和2年度 和泉地区)

● ひとり親家庭支援事業

親子クリスマスケーキづくり

● 児童遊具修繕助成事業

児童遊具の修繕にかかる経費の1/2を助成(上限3万円)

● 在宅障がい者介護用品支給事業

在宅の障がい者に対し、オムツ購入費の1/2を助成(上限90枚)

● 共同募金啓発事業

社協だよりの発行(年4回)

大野市共同募金委員会運営委員会

役員一部変更について

所属団体の役員交代などにより一部役員が交代されたのでお知らせします。

※が新役員(敬称略)

- 【会長】** 竹田 淳
- ※大谷 誠治 長崎 吉久
- 【副会長】** 萩原 勢子
- 澤本 和博 田中 眞次
- ※前田 廣子 黒田 裁博
- 【運営委員】** 岡崎 忠男
- ※篠島 一郎 三嶋 利昭
- 大葎原義信 松田 信子
- 嶋田 博之 梅澤 伴子
- ※畑中六太郎 **【監事】**
- ※中村 弘之 林 幹雄
- 小林 正一 ※福田洋一郎

義援金を受付中

豪雨や台風、地震などで被災された方々の支援のため、「義援金」へのご協力をお願いいたします。

自分の町を良くするしくみ 赤い羽根で優待カード

「赤い羽根ご優待カード」は、社会福祉協議会窓口または協賛店舗で1,000円以上募金した方にお渡ししています。下記の協賛店舗で掲示すると、お得なサービスが受けられ、何度でも使うことができます。(有効期限：令和4年9月30日)

大野市の協賛店

店舗名	特典
うおまさcafe	1,000円以上のご飲食で、食後のドリンクサービス
手打ちうどん真昂	1,000円以上のご飲食で、100円引き
麵屋ぜん	煮玉子1個サービス
ふなの木	ランチ後の飲み物 100円引き
㈱平成大野屋 はいから茶屋	はいから茶屋にてお食事お召し上がりの方にコーヒー1杯サービス
時計、宝石、 メガネのオオクラ	メガネ一式3割引
㈲マルダイ自工	エンジンオイル交換工賃無料
ミスタータイヤマン ナカヤ	カーバッテリー 店頭価格より20%OFF エコシリーズタイヤ メーカー希望小売価格より20%OFF
パナデリア	500円以上お買い上げで10%引き
㈲宮本国文学堂	主な商品1割引(一部除外品あり)
㈲亀寿堂	1,000円以上のお買い上げで、50gの袋入りけんけら(270円)を1個進呈
㈲そば処 梅林	お食事をされた方に、ソフトドリンク1杯サービス

〇お問い合わせ先

大野市天神町1-19 大野市共同募金委員会 電話 65-8773

詳しくはこちら▶



福祉ふれあいまつりは中止します

令和3年度の福祉ふれあいまつりは、3月31日発行のおおの社協だより第217号で見合わせを案内していましたが、昨年来続く新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、参加される市民の皆さんや関係者の方々の健康と安全を第一に考え、中止といたします。



大野市社会福祉協議会 役員改選について

大野市社会福祉協議会は、任期満了に伴う役員(理事及び監事)と評議員の改選を行いました。

役員

任期…令和3年6月22日の定時評議員会の終結の時から令和4会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで

- 会長 齊藤 康文
- 副会長 大谷 誠治
- 理事 宮下 隆
- 徳山 孝晴
- 竹内 典夫
- 羽生 三千代
- 清水 文子
- 中尾 裕子
- 松田 典子
- 石塚 淳子
- 佐々木 滋夫
- 畑中 正頼
- 藤森 勉
- 田中 裕美子
- 林 幹雄
- 福田 洋一郎

評議員

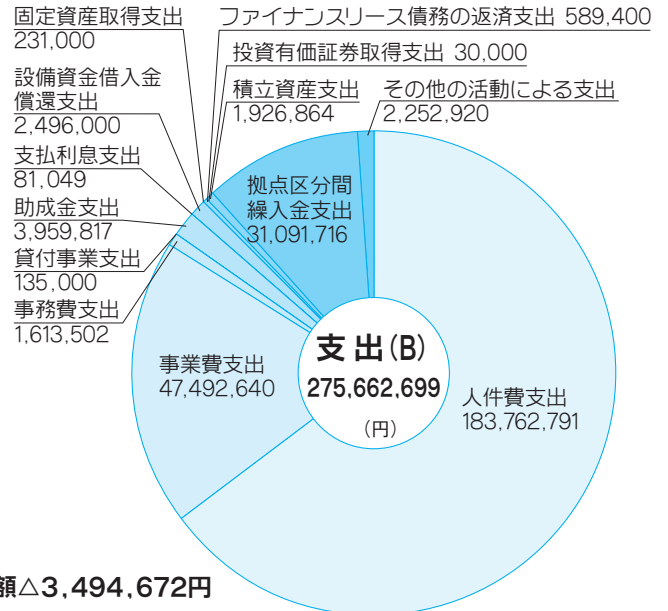
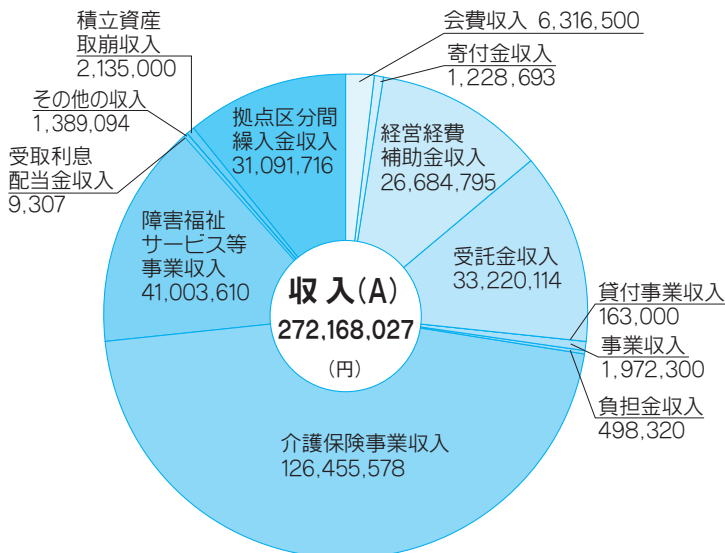
就任期間…令和3年6月22日の定時評議員会の終結の時から令和6会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで

- 石田 光義
- 金森 耕一
- 高澤 雅和
- 田中 吉清
- 澤本 和博
- 朝日 義治
- 清水 武正
- 山田 太郎
- 石倉 賢一
- 広瀬 正行
- 栗下 治昭
- 黒田 宗雲
- 三嶋 利昭
- 笹嶋 浩子
- 西田 與司男
- 南部 眞澄
- 奥島 美晴

- 長谷川 栄司
- 松田 博子
- 上田 隆澄
- 萩原 勢子
- 田中 眞次
- 中村 いづみ
- 前田 廣子
- 山品 弘子
- 梅澤 伴子
- 谷口 敏子
- 山田 えみ子
- 齊藤 譲一
- 吉田 良子
- 飯田 賢治
- 五十嵐 弘泰
- 青木 知代
- 一乗 玲子

令和2年度 決算報告

6月22日の大野市社会福祉協議会の定時評議員会で、令和2年度の事業報告及び収支決算が承認されました。決算について概要をお知らせします。



収入(A) - 支出(B) = 当期資金収支差額 Δ 3,494,672円

※詳細につきましては大野市社会福祉協議会事務局(本所)で閲覧することができます。

大野市・大野ライオンズクラブとの 災害福祉活動に関する相互連携協定



大野市社会福祉協議会は、8月31日、結とぴあにおいて、大野市・大野ライオンズクラブと災害福祉活動に関する相互連携協定の締結調印式を行い、石山志保大野市長、齊藤康文大野市社協会長、藤堂規行大野ライオンズクラブ会長がそれぞれ協定書に署名しました。

この協定は、ライオンズクラブが掲げる「災害時における他団体との地域連携の強化・推進」に基づく提案により締結となったもので、被災された方々の早期の復旧と復興につなげようとするものです。

● 協定の目的は？

被災地域における市民の自立と生活支援のため、大野市・大野市社協・大野ライオンズクラブの三者が相互に連携して取り組むことにより、災害福祉活動（福祉・ボランティア活動）を迅速かつ効果的に進めようとするところにあります。

● 協定による相互連携や支援要請の内容は？

- ①災害福祉活動の支援に関する情報の提供
- ②災害福祉活動に対する人的な支援
- ③災害福祉活動に必要な資金や物品、資機材などの提供または貸与
- ④災害ボランティアセンターが行う災害救援活動への支援
- ⑤普段からの災害福祉活動に関する情報の収集・提供と普及・啓発



● この協定締結のメリットは？

- ①民間の力を活かした災害福祉活動の展開
ライオンズクラブが持っている国際規模のネットワークや機動力、資金調達力だけでなく、個々の会員が持つ専門性や技術など、多様な資源を得られることが可能になり、的確な災害福祉活動の援助になります。
- ②災害ボランティアセンターの体制強化
発災直後に災害ボランティアセンターの拠点整備を行うとき、初動の設備や物品、資機材の確保について、調達力やそのノウハウの協力が得られます。
- ③普段からの災害福祉活動の強化と市民意識の向上
普段から三者それぞれの立場を活かした災害福祉活動に対する訓練や研修を行い発災に備えるとともに、市民への防災意識の普及・啓発活動に役立てることが出来ます。

